



# KUFS TOKYO NEWSLETTER

2009年4月10日

京都外国語大学校友会東京支部

VOL.12

## トピックス

- ごあいさつ
- 坂本校友会会長ご挨拶
- 武道体育館竣工
- 総会・懇親会の楽しみ方
- 外大キャリアサポート
- 外大生・横顔シリーズ
- 海外便り「フランス編」
- 活動メンバー紹介

京都外大校友会

坂諸利正会長

新年度のごあいさつ

昨年はチリ支部の設立

今年は上海支部設立予定

国内で中国地方で設立の動き

東京支部活動に注目!

校友会情報の迅速なお届け

を!

## \* 東京支部 NEWSLETTER 第12弾 \*

『口角を上げて、眉間に花を咲かせましょう。  
ほら、こうすると世にも幸せな表情になるのです!』  
劇団文学座の先生がお稽古前におっしゃる言葉です。  
“笑う”とナチュラルキラー細胞が活性化し、  
アルファ波が現れ、心身の健康に有効なのだそうです。  
ふしぎなことに作り笑いでも“OK”なのだそうですよ♪



この東京支部NEWSLETTERも今回で12回目となります!  
KUFS現役生と卒業生の架け橋となることを目標に、情報交換の  
コミュニケーション・スペースとして、充実を計ってゆきたいと思えます。  
まだ、NEWSLETTERを受け取られていらっしゃらない方をご紹介  
くださいますよう、ご協力をお願いいたします。

連絡・投稿先は >>> [tonegawa@gm-group2.net](mailto:tonegawa@gm-group2.net)

## 坂本校友会会長の新年度のごあいさつ



京都外国語大学校友会  
会長 坂本 利正  
ごあいさつ

東京支部の皆様こんにちは。日頃は校友会の活動にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

桜便りとともに今春卒業された1,100余名の新会員を迎え、4月から新しい年度がスタートしました。

今年度も内外の各支部の活動が活発に展開されるよう期待しています。昨年チリ支部が設立され、今年は上海支部が設立される運びとなっています。国内でも中国地方で設立の動きがあるなど、校友の絆がますます深く大きくなっています。

とりわけ東京支部の活動に注目しています。ホームページ上でのニュースレターや、インターネットを活用した会員相互の交流など活発な展開が、支部会員お一人おひとりの参加意識を高めていることに心を強くしています。

また、本年度は校友会としてもホームページ等の充実を一層進め、校友会活動の状況や各支部、各クラブOB会、各学科同窓会等の情報を出来るだけ速くお届けできるよう努めて参ります。

ところで、去る3月22日に大学の「武道体育館」が竣工しました。多くの

京都外大武道体育館

3月22日 竣工！

隣接10号館4階

国際文化資料館スタート間近

5月から市民公開

東京支部総会・懇親会

7月4日 天王洲アイランド

東京シーフォートホテル

Top of the Bayにて開催

ドレスコード指定はなし！

自由気ままに午後のひと時を

100倍お楽しみメニュー紹介

校友の皆様の浄財が活かされた特色ある立派な施設であり、これから幅広く利用されることでしょう。

結びにあたり、東京支部のますますの発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたします。

## 京都外国語大学武道体育館竣工



学園創立60周年記念事業の第2分館キャンパス整備事業の一環として、平成20年2月より工事が進められていた武道体育館がこのほど完成し、3月22日に森田嘉一理事長・総長をはじめ、約200名の関係者が出席して竣工式が開催されました。

体育館の建築面積は856.75㎡、延床面積は2,219.73㎡で、1階はアリーナとなっておりバスケットボールやバレーボール等に利用、地階には武道体育館の名にふさわしく「剣道場」と「柔道場」が整備され、2階には見学者や軽運動者のための施設も設けられています。竣工式当日は剣道場と柔道場においてそれぞれ奉納演武が行われ、盛大に道場開きが行われました。この4月からは学生の体育関係の正課授業や課外活動が行われ、心身鍛錬の場としての利用がスタートします。

なお、隣接の10号館建物4階には「国際文化資料館」が新しくスタート間近かで、5月からは広く市民の方々にも公開される予定です。

## 総会・懇親会の楽しみ方…ご提案！！

～7月4日(土)「関東地区卒業生の集い」を100倍楽しむ方法～



今年の  
東京支部主催の総会・懇親会は  
7月4日(土)11:30-14:00  
天王洲アイランド  
東京シーフォートホテルにて  
開催します

このホテルの特色はなんといっても東京湾を全貌できるシーフロントに位置し、しかも会場は最高階にある28階のTop of the Bay。眼下に繰り広げられるTokyo Bayのパノラマは息を呑む美しさです。

今回、懇親パーティでのドレスコードはあえて指定いたしません。カジュアルでお越しいただくもよし、めいっぱいお洒落をしてご参加いただくもよし、自由気ままに午後のひと時をお過ごしください。

さて、今回の集いに加え、その日を100倍楽しんでいただけるメニューをご紹介いたしましょう！

東京ベイクルーズ

ディナークルーズプラン

総会・懇親会にご家族で参加

その後のファミリー・カップル

ドキドキプラン

外大キャリアサポート事情

新任のサポートセンター長

池崎宏昭センター長に

おうかがいしました

雇用形態の変化から

大学のキャリア教育実践が

重要な位置を占める



東京ベイクルーズ  
ディナークルーズプラン  
運航日:毎日  
時間:18:30~21:00  
(150分クルーズ)  
お料理:フランス料理コース  
(ウェルカムドリンク1杯)

先ず、第一のお薦めは、東京ベイクルーズ。この時期、海の風を身体全身に受けながらのクルージングは究極の癒しです。爽快感は抜群。バイエリアならではのクルージングを楽しんでください。バイエリアのアフタヌーンクルーズは直ぐに予約でいっぱいになってしまう人気クルージングです。万が一、当日予約がいっぱいになっても一駅離れた浜松町駅近辺の港からも出ています。あるいは、その夜のディナークルーズプランは更に魅力的です。150分のフランス料理コースです。更に、夜空の星を眺めながらのナイトクルーズという手もあります。

こんなワクワク・ドキドキが詰まった7月4日を、外大生と、ご家族と、カップルとでもバイエリアの一日を計画してみてください。その日はゆっくり優雅にホテルで滞在をとという方のために、現在、ホテルと特別料金の折衝中です。次回号で料金等ご紹介します。

## 外大キャリアサポート事情 第7回



### \* キャリア教育について \*

\*

今年度よりキャリアサポートセンター長に就任されました、准教授池崎宏昭様に熱い思いを語っていただきました。

### 就任の挨拶とご支援のお願い

京都外国語大学校友会東京支部の皆様には日頃より格別のご支援を頂き有難うございます。平成21年4月1日付けでキャリアサポートセンター長として着任いたしました。就任の挨拶を兼ねてキャリア教育に対する私の考え方へのご理解をいただき諸先輩の益々のご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて東京支部の皆様とは7年ほど前に校友会の益々の発展のために意見交換をさせて頂きました。あの頃が懐かしく思い出されます。その後、京都の大学で職を得た関係でご無沙汰いたしておりましたが、今般、母校京都外国語大学からキャリア教育、就職支援など担う役割を拝命いたしました。微力ながら人生最後の仕事として誠心誠意努める所存でおります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

近年、大学におけるキャリア教育の実践は重要な位置を占めています。これは主に次のような理由を考えることが出来ます。まず、日本独特の大学新卒から就職への移行システムに、近年、変化が訪れている事です。こ



のシステムは「就職」という言葉を使用していますがその実態は特定の分野を除いて「就社」という形態であり、採用後にその企業の意向により「職」が決定されるというシステムです。これは「終身雇用・年功序列」といった雇用・処遇制度のもとでの企業内キャリアパス(人材育成・プロモーション)を前提としています。従ってこの制度では大学教育とキャリア教育は同じ座標に位置することが必要ではなかったのです。しかし、ここ十数年の間に企業は人材をコストとしてとらえ従業員の最大効用化や人件費削減策に傾注し、また労働法規における規制緩和に下支えされたこともあり、採用や雇用の形態に多様化が見られるようになってきました。例えば、採用において職種別採用が取り入れられたり、雇用形態においては非正規雇用(契約・派遣など)の量的拡大が図られています。つまり企業側の意図する事は入社後、短期間の教育・訓練で現場に配属できる人的資源の早期確保です。このメッセージはいろいろなメディアを通じて大学や学生に流布され「企業は即戦力志向」という言説となりました。この結果、大学側は企業の要請に合わせるようにキャリア教育と称して課外教育で資格講座の導入をおこなったり、学生は資格専門学校でも学ぶというダブルスクール現象もおこりました。しかし、皮肉なことに企業側の意図したことは有資格者を優先的に採用するということではなく、「即戦力志向」という考え方も一時のメディアと資格学校のから騒ぎ的な現象でありました。企業側の大卒採用の本音は依然として各企業の風土や目的に沿い、将来の基幹要員として期待できる幅広い教養を身につけた人材確保に焦点を当てた新卒採用が主体です。また一方、大学では試行錯誤を重ねながら正規科目で「キャリア」や「職業」という名前を付した講座を開講しています。その多くは、「キャリアとは何か」や「キャリア形成と何か」などという欧米で研究された「職(身につけた技能)」から「業(なりわい)」への移行を前提とした「キャリア概論」が展開されています。これはキャリア教育の理論を教育していることであり、将来キャリア教育に従事する人間には必要な知識かもしれませんが、学生の人材育成を目的とする教育とはかけ離れたものです。このような経緯をたどっていけば、今まで各大学で導入されているキャリア教育と称されたものは哲学も理念もない徒花のようなものです。もうひとつの現実には世相の反映を受けて就職率の高さが大学選択の基準となる風潮もあり大学は就職率のアップに取り組む姿勢を見せるためキャリア教育の実施を広報しています。このため大学教育が就職活動のために阻害されていてもこれに対して反論を主張するような動きも見られません。この問題に対しては一大学だけで解決できる問題ではなく日本における大学教育の在り方という根本的な問題を議論する必要があります。しかし、現状を是としても大学で改善できる策はあります。それは学生が就職活動に要する時間を効率的に使うことです。学生の就職活動実態に関する今までのデータから長期にわたって就職活動をおこなった学生が短期の学生より希望する就職先を確保できているという根拠は弱いのです。長期にわたり就職活動を続ける学生の傾向は、市販されている就職関係の本の乱読、就職情報企業が実施する企業説明会への無計画な渡り、インターネット就職情報サイトの乱用による多エンターキーのキーボード就職活動などが原因となっている可能性が高いといえます。このような状況で最も弊害となるのは、「自己同一性の崩壊」であり、あれもこれも表面的な事象を取り込み「理想自己」を粉飾してしまうことから瓦解が始まります。さらに追い打ちをかけるように「職業」を経験したことのない学生に職業をイメージさせて自己分析の強要をおこない自分がその職業に向いているかどうか自問させることです。この結果、自己中心的な世界観から抜け出す事が出来なくなり、職業に対する視点が硬直してしまいます。

企業側の意図は

短期間で現場に配属できる

人材資源の早期確保

即戦力志向？

就職活動が大学教育を

阻害しているという問題

解決策は

効率的に主食活動時間の活用

自己同一性の崩壊・・・

大学の理念に沿った  
人材育成への変貌

2008 年度本学就職率95%  
文部科学省発表では85%

外大卒業生の約3割は  
首都圏に就職  
東京支部の皆様のご理解と  
ご協力をお願いいたします

外大生横顔シリーズ  
メキシコ料理レストランシェフ  
渡辺庸生さん  
連載4回目

本格メキシコ料理が受け入れら  
れない逆境の中  
吉報が舞い込む...

つまり水の量を測る為の高さだけでそれを見ようとする視点です。人間は成熟とともに水の量は高さだけでなく、容器の幅によっても異なることを知る認知的な発達を獲得しているにも拘らず職業選択においては幼児帰りを起こしているといえます。ここで必要なことは自己中心的な世界観から離れて、将来社会が必要とする職業を見据えた世界観から進路を探索することです。本来のキャリア教育はどのような職業を選択しても怯むことなく遂行していける人間として「生きる力」を備え、眼前の仕事から興味を引き出し将来の仕事につないでいく不撓不屈の力を育成することであろうと思います。この為には京都外国語大学の建学の精神を基盤として将来有望な人材育成のためにおこなわれるキャリア教育が必要です。従ってキャリア教育は学部教育と乖離することなく、学部とキャリアサポート機能が連携し、諸先輩のご支援も活用して共に学生に可能性を気付かせ、社会で専門性を応用出来るような教育をおこなうことです。大学は、就職情報業界やメディアの動向にすり寄るようなキャリア的教育ではなく、すべての学生に幅広い教養を学ばせ、大学の理念に沿った人材を育成するところへと変貌しなければなりません。

京都外大の2008年度卒業生の就職を希望する学生を分母にした数値は95パーセントでした。なお文部科学省が発表した内容(3月15日プレスリリース)では2月末の実績で同様に就職を希望する学生を分母にして85パーセントでした。この数値から見る限り学生の健闘ぶりが窺えます。しかし、2008年度は今日の不況をもろにかぶる前の人事計画で採用されたものであり、外大においては内定取り消しという事態もなく推移したことが幸いです。就職先の選考性については2007年度と大きく変わるところはありません。今年度の採用予測では一部上場企業のほぼ半数が採用減もしくは不採用など抑制する傾向が示されています。今年度の就職活動は非常に厳しい状況になることが予測されキャリアサポートとしても強力な支援が必要になると考えております。このためには校友会の諸先輩にお力添えを頂きよりきめ細かな対応が必要です。外大の学生は約3割程度が首都圏で就職をしており、特に東京支部の皆様には具体的な策をお持ちのご理解とご協力をお願いしたいと思います。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 外大生・横顔シリーズ



メキシコ料理レストラン La Casita オーナーシェフ昭和46年 イスパニア語学科中退  
渡辺庸生さん(昭和23年10月7日神戸生まれ)の連載4回目です。

「もう少し時間をください。」とオーナーに承諾を求め、仕事を続けていたが、心中は早期にメキシコに戻ることを決めていた...

苦渋の日々が続く中オーナーに胸中を吐露した私は、後釜を育成することでこの逆境から逃れようとしていた。半年を過ぎる頃、高木と名乗る男からの電話を受けた。「渡辺さんはメキシコ料理のシェフだと大使館の方から聞きました。大事なお話があります。詳しくはお会いしてから...」その週の休日、待ち合わせの店に現れた彼の話は意外なものだった。聞けば、自分

限りない夢の実現への一歩

念願の店の名は「La Casita」

本格派メキシコ料理メニューに

知識人の評判を呼び、

月刊誌、週刊誌の取材

メキシコ遺跡写真集の原稿

メキシコ料理ラジオ出演依頼

千載一遇のチャンス到来！

外大生横顔シリーズ

アビームコンサルティングに

お勤めの菅沼達夫さん

卒業後大手機械メーカー

海外事業部に入社

4年間のスペイン駐在

2007年より現職

の住むマンションの知人が渋谷駅前で小さな焼き鳥屋を営んでいるが、その場所にビルが建つことになった。完成するまでの間、公園通りの代替地をもらったが、あいにく坂の上で、同じ商いをやる自信がない。若い人が多い地域なので何が向いているのか相談を持ちかけられたとのこと。彼の頭に閃いたのはメキシコ料理だったが、果たして料理人がいるのかどうかメキシコ大使館に問い合わせたところ、私の存在を教えられた。是非、知人に逢わせたいと懇願されたのである。表現の場所を求めている私には願ってもない吉報であった。早速了承して話は進み、店の運営を任されることになった。たった7坪の小さな物件で、期間は約1年半の契約ではあったが、限りない夢の実現に向けていよいよ第一歩を踏み出した。

念願の自分の厨房を手に入れた私は、手が届く、目が届く範囲の気持ちをこめて店名を「La Casita」(小さな家の意)と名づけた。1坪の調理場には制限があったが、前菜、スープ、軽食、一品料理、デザートに至るまでのメニューを構成し、これまでのハードシェルのタコスや豆料理の幻影を打ち消す表明からスタートした、この店は徐々に知識人たちに認められていった。自画自賛になるが、妥協を許さないすべて手作りの献立は、味もさることながら目新しさに評判を呼び、月刊誌や週刊誌の取材も受けるようになった。そんな折、「マヤ、アステカの遺跡」の写真集への原稿依頼や、近くのNHKから、ラジオでメキシコ料理の解釈(毎週30分×4回)について話す機会を与えられた。この出来事が自分の中に隠れていた使命感を呼び起こし、表現ができる場所を設定して、それを披露することが第一なのだ意識するようになった。まだ、若干29歳、メキシコに勉強に行く時間は何度でも作れる、我が店を持つことのほうが先決だという思いを深めていった。契約が切れる年の秋、独立を考えていた私に顧客の一人が「代官山いいよ。」とアドバイスしてくれたのである。この言葉によって私は千載一遇のチャンスを迎えることになる。

次回へ続く～TO BE CONTINUED～お楽しみに！

## 外大生・横顔シリーズ



アビームコンサルティング株式会社、  
製造・流通事業部にご勤務の  
シニアコンサルタント

平成14年ブラジルポルトガル学科卒業  
菅沼 達夫さんをご紹介します。

2002年京都外大を卒業後、大手機械メーカーの海外事業部に入社。約4年間に亘るスペイン駐在を経て、2007年より現職。自動車製造・部品メーカーや

情報通信機器メーカーをはじめとした製造業・流通業のクライアント向けの経営戦略立案・展開支援、ビジネス変革支援、IT戦略立案等をグローバルレベルで手がけていらっしゃいます。

### 学生の頃の思い出

外大を卒業して早くも8年が過ぎ去ろうとしています。改めて振り返ってみると、時間が過ぎるのがとてつもなく早いような気がするのと同時に、学生



記憶に残る学生時代の思い出

2年生の頃の通訳のバイト

語学をビジネスに生かすには

4年生では各種企業の

翻訳、通訳の仕事が...

県警、裁判所からも通訳依頼

取調室の通訳経験のおかげ

KYにならずにすんだ??

12年フランス語学科卒業

寺尾恵さん

La paque 復活祭

の頃の思い出は、まるで昨日の出来事のようにも感じます。学生の頃の様々な思い出が錯綜とすることで、とりわけ記憶に残っているのは、2年生の頃から始めた通訳のアルバイトでした。

外大の大多数の入学志願者が持っている“語学力を活かせるような仕事をしたい”と、私も強く思っていました。語学をビジネスに活かすにはどうすれば良いのかというところを自問自答していると、出来るだけ早く語学を使った仕事をしているという実績を作ることが近道のように当時の私は考えました。

そして、通訳・翻訳関連の書籍を一冊購入しました。その書籍の通訳・翻訳の関連企業の一覧表が記載されており、不躰にも私は片っぱしからそれらの企業宛てに手書きで「ポルトガル語・スペイン語の通訳・翻訳が出来ますので、アルバイトとして雇って下さい」という内容の手紙を書きました。

また、企業だけでなく、日系人が多い地域の警察・裁判所・市役所等にも同様の手紙を送りつけました。

何日か待っていると、いくつかの企業から面談の日程調整依頼が届きました。そして、面談の結果、いくつかの企業から【採用】の連絡をもらいました。とはいっても、通訳や翻訳の仕事がそうそう届くものではありません。最初は、一つのフレーズを翻訳することから始まり、少しずつ当会社との信頼関係を築いていく中で、徐々に責任の大きい仕事を与えてもらいました。大学4年生になる頃には、各種企業の資料の翻訳や会議通訳などの仕事を頂くことが出来ました。

また、京都・滋賀・岐阜県警や裁判所からも通訳の依頼を頂きました。内容は中南米から来た日系人犯罪者の取り調べ捜査のサポートでした。取調作業の中で、取調官は様々な手法で犯人と思われる人にアプローチを取り、真実を聞き出そうとします。例えば、「お金に困っていたから盗んだのね。。。」と、同情するような場面もあれば、「犯人はおまえだろ!？」と凄みを利かせる場面もありました。そのようなやり取りをしている傍らで、通訳の私が笑顔でいるわけにはいきません。どのような場面であっても常に取調官と呼吸を合わせることが必要でした。

その経験があって、今の若者用語の“KY”にならずに済んだように思いますし、滅多に出来ない貴重な体験をしたと思います。「学生のアルバイト」という立場を理解した上で採用頂き、仕事を与えて下さった企業・警察・裁判所等には、本当に育てられたという思いがあり、今でも感謝して已まない気持ちでおります。

## 海外便り「フランス編」

夢の実現のためにフランスでがんばっていらっしゃいます  
平成12年度フランス語学科卒業の寺尾恵さんからのお便りです

### La paque 復活祭



3月29日から夏時間

夜中の12時が夜中の1時

そういえば2週間前から

いっせいに花が咲き始め...

復活祭のヴァカンス

今年は4月12日

町はウサギと卵をかたどった

チョコレートがあふれます

40年度英米語学科卒業の

小島伸夫さん

スカウトクラブで満喫した

学生生活を卒業して

早40年!!

なんだか急に春めいてきたな、と思っていたらこちらでは先月、3月の29日から夏時間になりました。この日、夜中の12時が同時に夜中の1時になりました。なれない私にはなんとも不思議な感じ。仕事終わり皆で、夜中のステックタルタルと生牡蠣に舌鼓。おしゃべり。夜中0時に始め、1、2時間...なんともう3時!!なるほど、時が経つのは速いものですが、夏時間になる日はこうも速い!!フランス国内に居てちょっとした時差を体験するのです。

夏時間、ついこの間まで本当に寒かった。なのに気がつく、最近そういえば夜も8時くらいまで明るい。そういえば、2週間ほど前からいっせいに花が咲き始めた。

そして、巷ではまたヴァカンスに入るらしい。今年のはヴァカンスドウパック。復活祭のヴァカンスなのです。キリストが亡くなった3日後に復活したことを祝う宗教的な休日です。毎年日付が変わります。また、細かくは宗派によっても違うらしい。ややこしいので近くのお菓子屋さんの看板に従うと、今年4月の12日らしい。町にはウサギや卵をかたどったチョコレートがあふれています。卵は誕生、ウサギは多産の象徴なんですから。日本では犬ですよ。

一般にはキリストの復活にまつわるものだとされていますが、こうも一斉に咲き始めた花や芽吹く木々を見ると、ギリシャ神話の春の女神を思い出します。この女神のおかげで昔々は冬なんかなくて一年中が春だったのだと。ところがこの女神がさらわれてしまい、地上には春がなくなると。その後、1年に数ヶ月間だけこの世界に戻ってくることを許された、この女神がいる間は鳥が歌い、花が咲き乱れるのだという神話。わたしには復活祭は春の復活でもあるように思えるのです。

\*\*\* ガンバレ、外大卒業生! \*\*\*

## 活動メンバー紹介



私たち東京支部は、たくさんの有志の皆さんの理解と協力の上に成り立っています。このコーナーでは、現在、東京支部をささえてくれています役員や実行委員の皆さんの横顔を紹介させていただきます。少しでも、東京支部への親しみと近しみを増していただけると幸いです。

今回は、**昭和40年度英米語学科卒業の小島伸夫さん**です。

外大を卒業してはや40年を超えました。学生の頃はスカウトクラブに属し満喫した学生生活をおくったと今でも自負しております。今でも時々連絡があり会っており、話は学生時代に帰りその当時の思い出話で盛り上がっております。卒業後は段ボール機械の販売に従事しておりました。国内の機械の販売はもとより 輸入機販売や技術提携機の販売や輸出が主な仕事でした。初めて海外出張はベトナムで当時北ベトナムとの戦争状態でありました。10時に戒厳令が敷かれ全ての電気が切れ真っ暗でしたが、食事だけはおいしくいただきました。

フランスが統治していた事もありおいしかったと思います。まるで戦争映画の中にいるような感覚で80日間過ごしました。今となっては良い経験と思



20年前パリのHERMES

日本人スタッフがなんと

同じスカウトクラブの女性!

悔いのない人生をおくるには

「思いきり進め！」

6月には夫婦でウィーンに

モーツァルト演奏会

**事務局**

103-0024

東京都中央区日本橋小舟町  
2-9 カーサ日本橋ビル 7階  
(株)グローバルメディア内

**電話**

03-5623-6550

**FAX**

03-5501-9031

**電子メール**

[tonegawa@gm-group2.net](mailto:tonegawa@gm-group2.net)

**企画・編集:** 森田 順子

**発行責任者:** 本山 裕彦

い出です。その後ベトナムには出向いておりませんが是非とも近い将来出向きたいと思っております。その後会社も変わりましたが、相変わらず段ボール機械の販売でしたが、輸入機が主な仕事になったのでヨーロッパに出張が主になりました。

そこでの思い出は20年以上前の事ですが、パリのHERMES に買い物に出向いた際日本人のスタッフに質問したところ、同じスカウトクラブの吉田三穂子さんではないか、まったく偶然にしかもパリで会うなんてびっくりしました。それまで全く音信が途絶えてただけに非常に偶然なのかと思っております。その後彼女とは時々連絡がありますが、5年前に彼女がガンに懸ったと聞いたので、早速パリに出向き彼女と会いました。元気に普通の生活をしていると言っておりましたので、その夜一緒に会食をしたことが思い出として深く残っている思い出です。私も昨年65歳になったので第一線から退き今までの経験を生かし数社のコンサルタントをしており、社会の役に建っていると自負しております。又海外に多くの友人がおり彼らとはメールで連絡を取っております。彼らから教わった事で人生は全てに思いきり進む事が出来なければ、つまらない人生を送る事になるので、悔いのない人生をおくるには、思いきり進めでした。

彼らとは年に一度は何処かで会って生きている事をお互い確かめ合おうと言っており、昨年は日本で桜の見学会を3月末から一週間東京、京都を家族で案内しました。

一昨年の夏には私の長女が英国の大学を卒業したので、ストックホルムで再会しました。本年6月にウィーンでモーツァルトの演奏会に誘われております。何とか夫婦で出向きたいと思っております。

**\*\*\* 活動メンバー募集中 \*\*\***

=====事務局便り=====

校友会東京支部のニュースレターは12回目、丸1年になります。新年度に気持ちも新たにがんばってまいります。毎年7月に開催される東京支部総会・懇親会に向けての活動も開始されております。引き続き現役学生と卒業生、また卒業生同士をつなぐ媒体となるよう、できるだけ多くの卒業生の横顔をご紹介していきたいと思っております。

皆様の更なるご協力をよろしくお願いいたします。

皆様の周りで活躍している卒業生、自薦・他薦を問いませんので、  
当事務局宛お知らせいただければ幸いです。

連絡先は >>> [tonegawa@gm-group2.net](mailto:tonegawa@gm-group2.net)

=====